



白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第7号

令和5年11月22日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

10月21日(土)に開催したわかばコンサートには、たくさんの皆さんからお越しいただきありがとうございました。合唱、合奏、総合の発表等、子どもたちは生き生きと表現しました。

2学期も後半です。子どもたちのさらなる成長を目指して取り組んでまいります。



冬の使者 ～認め合い、助け合い、いたわり合い～ (11月の校長講話から)

校長 富永 浩文

渡り鳥を知っていますか。この時期にやってくる代表的な渡り鳥が白鳥です。冬が近くなると北の国では、白鳥が餌を食べる湖や沼が、凍ったり、雪に覆われたりしてしまうため、南の方に群れになって飛んでくるのです。大陸や海を渡って飛んでくるその距離は、およそ3千km(シベリアから上越に渡るコハクチョウ)にもなります。広い海の上をずっと飛び続ける体力は計り知れません。群れの中には、色々な白鳥がいます。当然力の強い白鳥もいますが、残念ながら力の弱い白鳥もいます。白鳥の群れは、どのようにして飛んでくるのでしょうか。

渡り鳥の飛び方には、実は秘密があるのです。渡り鳥の群れは、V字型の隊形で飛んでくることが多いそうです。ひらがなで言うと「く」の字です。鳥は羽ばたきを行うとその後ろに渦ができて、浮力(揚力)という、空気を持ち上げる力が働くのだそうです。そして、後ろにいる鳥は、前に飛んでいる鳥の羽ばたきとタイミングを合わせると、力をあまり使わなくても飛ぶことができるというのです。渡り鳥の群れは、この力の働きを上手に使いながら、自然に都合の良いV字型の飛び方をするようになったのだそうです。

でも、先頭や前にいる白鳥は大変ですよ。どのような仕組みになっているのでしょうか。調べた人がいます。それによると、前にいる白鳥は、大人の若くて力の強い、リーダーのような鳥なのだそうです。向かい風を受けてもへこたれない鳥なのだそうです。反対に、後ろにいる白鳥は、お年寄りやまだ幼くて力の弱い鳥なのだそうです。力の強い白鳥もずっと先頭で飛んでいるのは疲れます。そのような時は、次に力の強い白鳥が時折順番を変え、先頭を交代しながら飛ぶのだそうです。鳥であっても群れの中で、お互いの違いを認め、助け合い、いたわり合っているのです。体が弱かったり、体調が悪かったりする白鳥を置き去りにしていくことはないのです。また、弱い白鳥を前に行かせることはないのです。

皆さんの生活の中ではどうでしょう。自分より弱い立場の人にやさしくしたり、お互いに助け合ったりしていますか。先日、朝強い風が吹きました。何人もの人が帽子を飛ばされていました。そんなときにも、5、6年生の班長さんは前に立って強い風を受け止めながら歩いてきてくれました。後ろに注意を払いながら低学年に気を配ってくれていました。V字型ではないのですが、私には渡り鳥の群れの様子と重なりました。リーダーの皆さんに感謝します。

先週は、就学時健診があって新一年生が健康診断にきました。5年生のボランティアが列の先頭と後ろで支えてくれました。また、新しいリーダーが育っているのだなとうれしく思いました。

これから寒さが厳しくなります。天候の悪い日が多くなります。交通事故に気を付け、体調を崩さないようにして、みんなで支え合いながら2学期のまとめに向けて頑張っていきましょう。



5年生による新1年生への読み聞かせ